

おもてなしの心について生徒たちに講
義した江上いずみさん＝潮来市潮来



おもてなしの心伝授

潮来小 元客室乗務員が講座

茨城新聞
2018年1月20日

2020年の東京オリン
ピック・パラリンピックを
前に「おもてなしの心」を
生徒たちに身に付けてもら
おうと、潮来市潮来の市立
潮来小学校（金田久美子校
長）で17日、元日本航空客
室乗務員で筑波大客員教授
の江上いずみさんを講師に
招いた講座が開かれた。生
徒たちは訪日外国人を温か
く迎え入れるためのあいさ
つや握手の仕方などのマナ
ーを学んだ。

江上さんは客室乗務員を
約30年間続け、1987年

には当時の皇太子ご夫妻の
特別便担当乗務員にも選
出された。『おもてなしの
プロ』。第一印象を高める
5原則として、表情と態
度、身だしなみ、言葉遣
い、あいさつを挙げ「どん
なにすてきなドレスを着る
よりも笑顔が大切」と強調。
あいさつ時のお辞儀の仕方
では、言葉を先に述べた後
にお辞儀をする「分離礼」
が相手に敬意を表せるほ
か、耳の聞こえない方に口
の動きを見せられること
などを説明した。ほかに、

客室乗務員時代の体験談
などを紹介しながら「自分
の一番が相手の一番とは限
らない。相手を思って言葉
を掛けることが最も大切な
おもてなし」と締めくくっ
た。

講義を受け、5年生の香
取汐音さん(12)は「オリン
ピックで外国人の方たちを
おもてなしして、喜んでも
らいたいという思いが強
くなった」と話した。

(三次豪)